

デジタル時素リレー

Digital Time Element Relay

フェールセーフCPUを用いた高精度の時素リレー

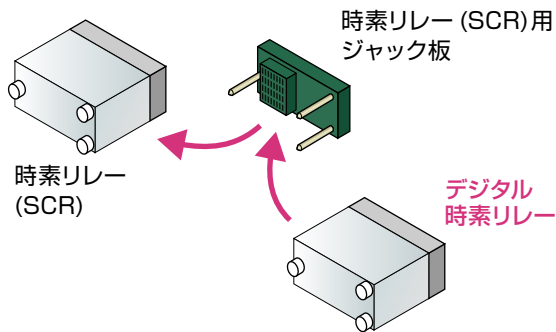
従来のモータ方式、コンデンサ方式の時素リレーに加え、CPU方式を用いたデジタル時素リレーを新たに開発中です。現在開発中のデジタル時素リレーは、既存製品の時素リレー(SCR)と互換性を持ち、電子連動端末で実績のあるフェールセーフCPUを時素制御に用いることにより、高精度の時素を実現すると共に、広範囲の時素設定が可能となります。



デジタル時素リレー外観
(イメージ図)

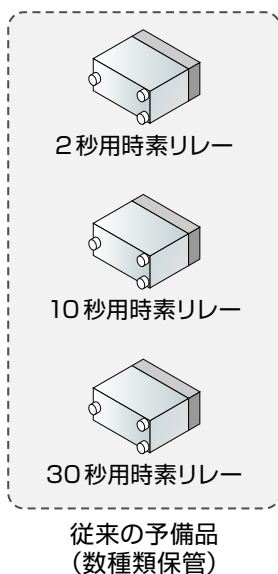
従来品との互換性

旧JRS仕様の時素リレー(SCR)との互換性があり、ジャック板の交換無しにリレーを置き換えて使用可能です。



広範囲な時素設定

0.3~990sの広範囲で緩動時間を設定可能であり、予備品を減少することが可能です。



CPU方式による時素制御

デジタル時素リレーには電子連動端末で実績のあるFSCPU(フェールセーフCPU)を搭載し、故障検知した場合は常に安全側に動作する機能を備えています。また、FSCPUを用いて時素制御を行うことにより、高精度かつ広範囲な時素の設定を実現しています。

耐サージ特性の向上

ベースに樹脂成形材料を採用することにより、耐サージ特性を向上させました。

仕様

名称		デジタル時素リレー
種類		緩動タイプ
電源(制御入力)		DC21.6V ~ 28.8V (定格24V) (平滑/単相全波整流電源共用)
接点	接点数	NR2N2
	接点材質	PGS-PGS
	接点負荷範囲	0.01 ~ 1.0A (DC12 ~ 28.8V) 抵抗負荷
環境条件	周囲温度	-20 ~ +60°C
	振動条件	加速度複振幅9.8m/s ² (1G)以下
動作特性	動作電圧	19.2V以下
	落下電圧	7.2V以上
時間特性	動作時間	設定時間の0 ~ +5%または0 ~ +0.4s (どちらか大きい方を適用)
	復旧時間	50ms以下
時素設定範囲		0.3 ~ 990s
耐久回数		150万回以上
外形		幅 147mm × 高さ 74mm × 奥行き 165mm (A形ジャック板用)
雷サージ特性		10kV以上(コモンモード)